

### 環境よもやま話（3） 菱 孝

考える人は何故あんな窮屈な姿勢をしているのか？

副題：便秘は古来からの地獄の苦痛？

便秘は古来から存在していたと考えられています。勿論、古代エジプトの時代から、勿論、中世の欧州でもあったようです。その治療薬として、東洋に今に伝わる、「大黄」は有名です。この大黄は、紀元 100 年代の漢の時代の医学書にも書かれている処方とされています。さて、この便秘は、年をとるにつれ増加し、特に高齢者では、切実な問題になるようです。

以前からロダンの「考える人」は何故あんな窮屈な姿勢で座っているのか？



その姿勢は、

「左足の太ももの上に右手の肘をつく」

「体を左にひねっている」

ふと、思いつきました。

ロダンは「便秘」、それもかなり重症の！

そう考えると、『地獄の門』の頂上部の一部に置かれている。

このことが何となく腑に落ちます。

重度の便秘！

それは、「地獄」の苦しみ。

苦しんだんだろうなあ～。

人間の太腸から直腸の配置は、正面から見て時計回りです。

左下腹あたりがちょうど直腸への最後の大腸部分「S字結腸」と言われるところです。

そう、便秘のなかには、ここが便で詰まることがあるようです。

排便が苦しい時、この部分を手で押さえると「だす！」ことに効果がありそうです。

右図のとおり、肛門へ至る大腸は、

左のS字結腸から直腸を經由しています。

この状態で、便秘の人が一所懸命出そうとするには、

「考える人」の姿勢で、左下腹にあるS字結腸を

手で「圧迫・揉む」刺激をすること、

これが効果があります。

便秘は大変な苦しみ。

昔から悩んだ人が多かったんだろうな。

と、同情します。

この私の仮説、信じますか？

